

令和7年度赤十字防災セミナー指導者養成研修

日本赤十字社では、地域コミュニティにおける「自助」と「共助」の力を高めることで、自らのいのちを守り、災害による心身の苦痛を軽減できるよう、「赤十字防災セミナー」を実施しています。

令和7年度の指導者養成研修は、6月28日・29日の2日間にわたり開催され、新たにボランティア15名と赤十字職員8名が指導者として加わりました。

兵庫県支部では、地域からのご依頼に応じて指導者の派遣を行っております。防災セミナーの開催をご希望の方は、ぜひお気軽にお問い合わせください。



こどもたちの防災体験イベントを開催しました！

UR都市機構と日本赤十字社兵庫県支部が連携し、武庫川団地（7月26日）と、ルゼフィール名谷東（8月4日）において、こどもたちの夏休みイベント講習（災害時おうちのキケン・心肺蘇生・三角巾を使ったきずの手当）を開催しました。

こどもたちは、「災害時おうちのキケン」では家の中のキケンな場所を見つけ出し、今日からできる防災対策を宣言するなど、各自の防災意識を深めました。心肺蘇生やきずの手当の講習では、応急手当の方法を学びました。講習後、ハートラちゃんの缶バッジづくりと救護服・ナース服の体験も好評でした。参加者からは「楽しかった」「おうちに帰ったら、キケンな場所を探してみたい」などの感想をいただきました。



赤十字講習で学んだ技術が命を救う—人命救助者表彰を受賞

日本赤十字社では、赤十字救急法などの講習を受講し、そこで学んだ知識と技術を活かして人命救助を行った方に対し、「人命救助者表彰」を行っています。

このたび、浦埜真実さんがその表彰を受賞されました。

今年1月、浦埜さんのご主人が突然、異常ないびきをかいて倒れた際、浦埜さんはすぐに赤十字水上安全法講習で習得した心肺蘇生を実施。お子さんは迅速に119番通報を行いました。

ご主人は病院到着前に意識を回復し、ICUに入院。幸いにも脳に障害もなく、4月には職場復帰を果たされました。医師からは「迅速かつ正確な心肺蘇生が脳へのダメージを防いだのだでしょう」との言葉があったそうです。



◆ 創立80周年 ◆

病院フェスタ開催！

「ハートラちゃん」と多可町マスコットキャラクター「たか坊」も登場！

日時

令和7年 10.25(土)10:00～

会場

多可赤十字病院(駐車場あり)

歴史展示、災害救護体験、健康相談など、どなたでも楽しめる内容です！
詳細は多可赤十字病院HPまたは公式Instagram (@townhospitaltaka) をチェック！
ぜひお気軽にご来場ください。

講習会のご案内 対面での講習会のご案内

救急法基礎講習 (1日の講習)	10月25日(土) 13:00～17:30 会場:日本赤十字社兵庫県支部7階 11月15日(土) 13:00～17:30 会場:日本赤十字社兵庫県支部7階
救急法救急員養成講習(2日間の講習)	12月20日(土)・21日(日) 9:30～17:30 会場:日本赤十字社兵庫県支部7階
救急法基礎・救急員養成講習 (3日間の講習)	10月11日(土)・12日(日)・13日(月・祝) 9:30～17:30(初日は13:00～17:30) 会場:日本赤十字社兵庫県災害支援センター(兵庫県三木市) 11月29日(土)・30日(日)・12月6日(日) 9:30～17:30(初日は13:00～17:30) 会場:日本赤十字社兵庫県支部7階
幼児安全法支援員養成講習(2日間の講習)	11月1日(土)・2日(日) 9:30～17:00 会場:日本赤十字社兵庫県支部7階
健康生活支援講習支援員養成講習 (2日間の講習)	12月13日(土)・14日(日) 9:30～16:00 会場:日本赤十字社兵庫県支部7階

※申込期日は開催日(初日)の1ヵ月前までです。

オンラインで学べる赤十字講習会のご案内

講習内容	開催日	時間
【幼児安全法】こどもにAEDって使えるの?(乳幼児の一次救命処置)	9月18日(木)	10:30～11:30
【救急法】知っておきたい!急病・手当の基本☆	9月18日(木)	14:00～15:00
【救急法】あなたは大切な人を救えますか?(一次救命処置)	10月28日(火)	10:30～11:30
【幼児安全法】こどもの看病手当のしかた☆	10月28日(火)	14:00～15:00
【健康生活支援講習】健康な高齢者をめざして☆	11月25日(火)	10:30～11:30
【救急法】知っておきたい!急病・手当の基本☆	11月25日(火)	14:00～15:00
【幼児安全法】こどもの看病手当のしかた☆	12月18日(木)	10:30～11:30
【防災セミナー】災害への備え(大雨)☆	12月18日(木)	14:00～15:00

☆印の講習は講義のみです。それ以外は実技を含みます。企業や各種団体でもオンライン講習にお申込みいただけます。上記日程以外でも開催することができますので、当支部救護課講習係にご連絡いただき、社内研修等にご活用ください。講習についての最新情報は、ホームページにて随時発信しています。ホームページにてご確認ください。お問い合わせは ☎0120-078-456(振興課)まで

講習に関するお問い合わせ	Tel.078-241-1499
ホームページ(講習のページ)	https://www.hyogo.jrc.or.jp/lecture/

遺言・相続財産・お香典等のご協力について

「自分が亡くなった後、これまで築いた財産の一部を赤十字に寄付したい」といったご相談や、大切な方を亡くされたご遺族から、「故人の遺産を社会のために役立ててほしい」というお申し出が増えています。日本赤十字社では、このような尊いご意思に応えるために、遺贈(遺言によるご寄付)、相続財産等のご寄付を承っております。

お問い合わせは ☎0120-078-456(振興課)まで

※隔月(奇数月)に発行しています。



〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目4番5号 TEL.078-241-9889 FAX.078-241-6990

赤十字 兵庫 検索 <https://www.hyogo.jrc.or.jp/>

ひょうごの赤十字 9月号 [2025年9月1日発行]

Japanese Red Cross Society Hyogo Chapter

ひょうごの赤十字+

2025
9

■ ホームページ
<https://www.hyogo.jrc.or.jp/>
■ インスタグラム
https://www.instagram.com/nisseki_hyogo/
■ Facebook
<https://www.facebook.com/nisseki.hyogo/>

Instagram

facebook

いのちと健康を守る活動へのご協力に感謝いたします。



- 令和7年度兵庫県青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センターを開催
- 令和7年度兵庫県支部災害対策本部要員研修を実施
- 令和7年度第1回赤十字防災ボランティア実践研修会を開催
- 西播磨赤十字奉仕団研修大会を開催
- 兵庫県日赤有功会が結成60周年記念総会を開催
- 姫路赤十字看護専門学校「姫赤祭」
- 令和7年度赤十字防災セミナー指導者養成研修
- こどもたちの防災体験イベントを開催
- 赤十字講習で学んだ技術が命を救う—人命救助者表彰を受賞



国際赤十字・赤新月運動館
大阪・関西万博で出展中!
開幕後18週目で
累計来館者20万人突破!

令和7年度兵庫県青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センターを開催

8月7日～8日、1泊2日の日程で日本赤十字社兵庫県支部災害救護支援センターにて令和7年度兵庫県青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター（以下「トレセン」という）を開催しました。

県下の青少年赤十字加盟校から中学生19名、高校生49名、指導者15名、赤十字奉仕団4名の計87名が参加。

トレセンでは、学校も学年も違う青少年赤十字メンバーが行動を共にし、参加者の自主性を引き出すために、各自の自発性に基づくボランティア・サービス方式をトレセン運営に取り入れています。

1日目は、オリエンテーション後、「青少年赤十字を知ってもらうためには」についてグループで議論しました。また「災害時の衣食住」をテーマに、非常食のおかゆとスープを混ぜてリゾットにしたり、ホットケーキミックスとハイゼックス（耐熱性があり、災害時に炊飯に用いる高密度ポリエチレンの袋）を使って蒸しパンを作ったりするなど、自分たちで考えた非常食のアレンジレシピで夕飯を作るほか、救急法講習も受講しました。

2日目は、「青少年赤十字を知ってもらうためには」をテーマにして議論した内容をグループごとに発表、救急法競技大会、フィールドワークも実施しました。

参加者からは「今回学んだことを生かし、2学期からリーダーシップを発揮していきたい」「自分で考え行動することや、周りと協力して行うプログラムが良かった」などの声が多く聞かれました。



令和7年度兵庫県支部災害対策本部要員研修を実施

8月5日、兵庫県支部では、災害発生時に組織として迅速かつ的確な対応ができる体制の構築を目的に、「災害対策本部要員研修」を実施しました。

本研修は、災害対策本部要員である職員が、本部の機能・業務・体制および組織について理解を深めることを目的としています。

研修では、災害対策本部の体制構築や情報収集・共有の重要性、活動記録の取り方について学び、円滑な本部運営を目指したレイアウトの検討も行いました。また、実際に本部を設営し、発災直後を想定した本部活動について訓練を通じて、実践的な対応力を養いました。

参加職員からは、「支部の本部体制をしっかりと理解し、今後も研修を積み重ねて、災害対応力を高め、赤十字の救護活動が確実に遂行できるように取り組んでいきたい」との声が寄せられ、災害時における赤十字の使命を改めて認識する機会となりました。

日本赤十字社兵庫県支部では引き続き、災害に備えた本部体制をさらに整えていきます。



令和7年度第1回赤十字防災ボランティア実践研修会を開催

7月12日、兵庫県支部にて「令和7年度第1回赤十字防災ボランティア実践研修会」を開催し、特別赤十字奉仕団員や個人登録の赤十字防災ボランティア34名が参加しました。

今回は、テールゲートリフター特別教育と炊き出し訓練の2グループに分かれて活動しました。

テールゲートリフター特別教育は、午前中は座学、午後は実機を使ってテールゲートリフターの適切な取り扱い方法を学びました。

炊き出し訓練では、カレーライスと蒸しパンを作り、お昼休みに試食しました。



西播磨赤十字奉仕団研修大会を開催

7月31日、さよう文化情報センターにて「西播磨赤十字奉仕団研修大会」が開催され、西播磨地域の赤十字奉仕団や佐用町内の小・中・高等学校、佐用町各種団体等 総勢97名が参加しました。

午前中はカレーライス炊き出し訓練を実施し、午後からの実技研修では、「三角巾を使ったきずの手当」、「急病の手当」、「段ボールベッド・トイレの作成体験」を行いました。

参加者からは、「段ボールの活用方法を知ることが出来た」「今回学んだことを必要な時に活かしたい」という感想がありました。



いのちと健康を守る赤十字活動は
皆さまからお寄せいただく活動資金で成り立っています。
活動資金にご協力をお願いします

郵便局・ゆうちょ銀行からご協力いただけます
口座記号番号:01110-0-1136
口座加入者名:日本赤十字社兵庫県支部
※窓口で取扱いの場合、振込手数料は無料です。

兵庫県日赤有功会が結成60周年記念総会を開催

7月1日、日本赤十字社兵庫県支部にて兵庫県日赤有功会結成60周年記念総会が開催され、50名が参加しました。

総会では、「令和6年度事業報告・決算」「令和7年度事業計画・予算」について審議され、赤十字活動普及のための支援や会員相互の親睦を図る事業が承認されました。

また、永年にわたり赤十字事業の推進に貢献された会員への表彰が行われたほか、兵庫県日赤有功会が赤十字事業を支援してきた功績に対し、支部長感謝状が桑田会長（中段写真右）に贈呈されました。

桑田会長は、「結成60周年記念総会を迎えることができ、長い間、有功会を支えていただいている会員の皆さんに感謝申し上げる。世界で災害や紛争は続いているので、赤十字を支える輪を広げ、微力ながら貢献したい。」と話しました。

総会後には、「阪神・淡路大震災から30年～歌の力を信じて～」と題して、「しあわせ運べるように」の作詞・作曲者である神戸親和大学の臼井真教授に、震災や歌に込められた思いをご講演いただきました。阪神・淡路大震災から30年が経過し、次世代へ語り継ぐことの大切さをあらためて実感できた講演会となりました。



姫路赤十字看護専門学校「姫赤祭」

7月26日、姫路赤十字看護専門学校にて「姫赤祭」が開催されました。猛暑の中での開催でしたが、たくさんの地域の方々にご来場いただきました。

今年度の姫赤祭は昨年度よりも規模を拡大しての開催となり、7月の開催に向けて実習や奉仕団活動と並行しながら、4月から学生全員で少しずつ姫赤祭に向けて準備を進めてきました。

姫赤祭の当日は、各学年によるダンスやクイズ、歌など、さまざまなステージ企画で大いに盛り上がりました。さらに、夏祭りをイメージした、射的やヨーヨー・スーパーボールすくい、輪投げ、おみくじ、写真映えスポットなど、子供から大人まで楽しめる催し物が多数並び、にぎわいを見せていました。また、姫赤祭の保健室では、血圧測定や肺の音を聴いてみる体験、献血の呼びかけなど、赤十字ならではの活動や健康についてのブースも展開され、様々な年代の来場者が参加して楽しんでいただくことができました。

今後も地域の方々との交流を深めて、より地域と密接に繋がっていきけるような活動が行っていきます。



姫赤祭の保健室



2年生のステージショー



ヨーヨー釣り